

B I C 競り勝つ

ハンドボール 女子はレキオク頂点 県一般選手権

ハンドボールの第44回県一般選手権大会は17日まで、浦添市民体育館などで男女各部の決勝などを行い、男子1部はB I Cが那覇西クラブに27-21で競り勝ち優勝。女子1部はレキオクラブが那覇西クラブに31-20で勝ち頂点に立った。男女1部の優勝、準優勝チームは九州一般・クラブ

▽1部準決勝
B I C 30-20 コザク
那覇西ク 34-28 沖縄ク

▽2部準々決勝
B I C 27(15)-13(8) 那覇西ク
沖国大 36-28 東風平SR

▽1部決勝
L I N E 24(13)-11(8) 琉球大
L I N E 24(13)-11(8) 琉球大

▽1部準決勝
B I C 30-20 コザク
那覇西ク 34-28 沖縄ク

▽同3位決定戦
沖縄ク 41(20)-11(7) 28 コザク

▽同決勝
琉球大 27-23 タイガー

▽2部準決勝
タイガー 34-25 つんまー
琉球大 30-23 チーム馬

▽同準決勝
L I N E 33-27 沖国大
琉球大 27-23 タイガー

▽同決勝
レキオク 31(15)-16(8) 20 那覇西ク
アッシュ 29(16)-13(8) 20 沖国大



レキオクー那覇西ク 後半、激しいマークを振り切ってシュートを決めるレキオクの佐久川かおり(中央) 17日、浦添市民体育館

強引なまでの攻撃的プレー
レキオ、弱点を克服
○…那覇西クラブに快勝し女子1部の頂点に立ったレキオクラブ。攻撃的プレーで優勝を引き寄せた。「オフエンス面が弱い」(佐久川かおり主将)というレキオは前半からリードするものの、突き放すことができずにいた。しかし後半は東江正作監督から「強引にでも打って

終盤突き放し 雪辱を果たす
B I C
○…前回大会と同じ組み合わせとなった男子1部決



B I C一那覇西ク 後半、相手守備をかわして得点するB I Cの前里卓実

いけ」と指示を受けた佐久川主将が「普段ならばパスを選択する」という場面でシュートを強行。警戒が主将に集中したことで、マークが緩んだ左のエース伊良波梨沙らが次第に得点を重ね、試合終盤にかけて着実に点差を広げて勝負を決めた。

快勝にも東江監督は「良いときと、悪いときがはっきりし過ぎ。今後修正すべき課題だ」と九州大会に向けて気を引き締めた。

展開となったが、終盤はB I Cが堅守からのカウンターの突き放した。高い打点からのシュートで勝利を引き寄せたのは前里卓実。勝負どころでボールを受けると、遠めの距離からも得点しチームを勢いづけた。前里は「周りがおとりになってくれたことで生まれたスペースを、うまく突くことができた」とチームメイトに感謝した。九州に向けて前里は「いいチームワークを保っている。4位以上に入って全国に行けるよう準備していきたい」と次を見据えた。